

2021/01/07 (木)

1 月始業式奨励

聖書 マルコによる福音書 12 章 30-33 節 (新約聖書 87 頁)

心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」

More is different

2021 年、新しい年を迎えました。これからすぐに入試が始まり、受験を経て、春には卒業、進学となり新年度を迎えます。皆さんが次のステージへと進まれる節目の季節です。今年も神様の祝福の下、安全で健康な学校生活が守られ、皆さんが成長されますようにと心からお祈りしています。

ところで皆さんはこの冬休みをどのように過ごされたでしょうか。私はイタリアの作家パオロ・ジョルダノの『コロナの時代の僕ら』という本に出会いました。なんと彼は小説家である前に、ひとりの物理学者 (博士) でもあります。デビュー作のタイトルは『素数たちの孤独』です。素数の組み合わせから、限りなく近いのにひとつになれない男女の心情を描いたそうです。イタリア最高の文学賞を受賞しました。読んでみたいです。

さて私の読んだ『コロナの時代の僕ら』ですが、昨年 2 月イタリアで感染症が広がり始めた頃、パオロが書き始めたエッセイを集めたものです。物理学者らしく数字に例えるなど、とてもわかりやすく書かれています。例えば「僕たちは 75 億個のビリヤードの球だとしよう」と語り、感染が広がる様子を説明しています。

そのエッセイの中で「最近よく耳にすることだが、それは、どうやらこの感染症は死亡率が低いらしい、特に僕らのように健康で若い人間には問題がないらしい。それなら自分のことは自分で責任を取ると考えて、普段通りの生活を送ろうではないかという考えの人がいることだ。しかしそれは間違っている」と彼は言います。そしてある物理学者の言葉を紹介しています。

1972年『サイエンス』という有名な科学雑誌に掲載されたフィリップ・ウォーレン・アンダーソンの言葉です。“*More is different*”、「多は異なり」「多くなると何かが変わる」という意味です。例えば水はH₂Oとあらわしますが、それは水素という原子が2つと酸素という原子が1つ合わさった分子です。でもそれが集まり、つながり方によって「水」にも「氷」にもなります。多くなるとそのつながり方によって変わるのです。*More is different* となるのです。それと同じように私たちは同じ人間という生物体ですが、ウイルスが加わり、さらにその集まり方によって共同体（社会）は変わるということです。感染の広がり方が変わるということです。

イエスは神様を愛するだけでなく、隣人を自分のように愛しなさいと言われました。他者を感じることに、社会に関心をもつことに、そのために人間には「想像する力」が与えられています。それは家族、友だち、通学ですれ違う人たちだけでなく、感染されても自宅で療養するしかない方たち、満足に睡眠、休むことなく感染者と向き合っている医療従事者の方たち、感染拡大によって仕事を失い、住むところを失い、今日食べるものにも困窮している方たちのことを思い浮かべるためにあります。

私たちは *More is different* です。そして私たちは神様に造られた人間です。だからこそ神様に愛され、互いに愛し合う生活は、どんな時にも最も大切なことです。そこに私たちがすべきこと、私たちに与えられた道、私たちの学びがあります。

(しばらく黙祷しましょう)

祈祷 祈りましょう

わたしたちを愛し、わたしたちを励まされる主よ。

新しい年を迎え、静岡英和女学院は今日ここに1月始業の時を迎えることができました。心より感謝いたします。どうかこの一年もすべてをあなたに委ね、あなたの赦しと導きの下、互いに慈しみ、励ましあい歩ませて下さい。

主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン